

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	医療的ケア(講義)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			

《授業科目における学習内容》

医療職との連携のもと医療的ケアを安全・適切に実施できる様に必要な知識・技術を習得出来る

《成績評価の方法と基準》

科目終了試験:70% 出席評価点20% 平常評価点10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版 2019.

《授業外における学習方法》

授業における小テストや配布プリント・授業内容の復習をしっかりと行い授業に臨む

《履修に当たっての留意点》

医療的ケアは利用者に直接的な影響を与えるケア技術である。正しい知識・技術の取得を持って安全な医療的ケアを行える様に介護福祉士を目指す。

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸維持の必要性、呼吸のしくみを理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・生命維持における呼吸の重要性について ・呼吸のしくみと主な呼吸器官の各部の名称と機能について ・換気とガス交換について		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	いつもと違う呼吸状態を推測する為の項目を理解できる 呼吸の苦しさをもたらす苦痛と障害が理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・いつもと違う呼吸状態について ・呼吸困難をもたらす苦痛と障害について		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引が必要な状況を理解し理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・痰を生じて排出するしくみや・痰の貯留を示す状態について ・喀痰吸引が必要な状態について		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	人工呼吸器のしくみ生活支援における留意点が理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・人工呼吸器装着者に対する吸引、生活支援の留意点について ・人口呼吸器装着者の呼吸管理に関する医療職との具体的な連携内容について		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	子供の吸引に関する留意点や利用者・家族の吸引に対する気持ちに沿った対応を行う為の必要性を理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・子供の吸引の留意点について ・利用者、家族の気持ちに沿った対応と留意点について		

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	・吸引に伴う呼吸器系の感染の状態と感染予防策について理解できる。 ・喀痰吸引に伴う危険、事後の安全確認について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	呼吸器系の感染が起きた可能性を示す状態を知りまた感染の予防する為の予防策を学ぶ。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引実施する事で生じる危険について学ぶと共に急変や事故発生時の対応について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	急を要する状態の対応方法と急変、事故発生時の対応、多職種との連携体制について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引で用いる物品の取り扱い、喀痰吸引の手順の留意点について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	喀痰吸引の一連の流れの留意点、ケア、実施後の報告の仕方について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	経管栄養概論を学ぶことで消火器系の役割・機能、消化・吸収のしくみを理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・消化器官のしくみと役割、機能について ・嚥下のしくみについて		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	消化・吸収とよくある消化器症状について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・消化・吸収について ・よくある消化器の症状について		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	経管栄養とは何かを知り、栄養を注入する際に必要な知識について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・経管栄養が必要な状態について ・経管栄養のしくみと種類、経管栄養剤の種類、投与方法について		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	経管栄養実施時の留意点について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・経管栄養の実施時の留意点について ・子供の経管栄養について		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	経管栄養に係る感染予防について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	経管栄養を行っている状態の感染予防と口腔ケアの重要性について		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	経管栄養を受ける利用者と家族の気持ちと対応、説明と同意について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・本人、家族の経管栄養に対する気持ちにそった対応と留意点について ・経管栄養の実施に関する説明と同意について		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認や急変、事故発生における対応について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	・経管栄養により生じる危険の種類について ・ヒヤリハット・アクシデントの実施と報告について ・緊急を要する症状について		

学 科	介護福祉士		科 目 区 分		授業の方法	演習
科 目 名	医療的ケア(演習)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験と その関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			

《授業科目における学習内容》

医療的ケア・吸引/経管栄養

1、基本研修(講義形式、定時間50時間以上)2、演習(基本研修修了者)3、喀痰吸引(航空・鼻腔5回以上)気管カニューレ内部5回以上)4、経管栄養(胃ろうまたは腸瘻5回以上、経鼻経管栄養5回以上)5、実施研修(可能な限り)*併せて救急蘇生法演習についても1回以上実施

《成績評価の方法と基準》

①医療的ケア行為が安全に施行できること②ケアにより利用者の苦痛が取り除けたり、軽減できること③利用者・家族の命を守り、生活の質の向上に結び付くこと④介護福祉士のモチベーションとなり、高揚、維持に結び付くこと⑤医療的ケアを行うことで介護福祉士の社会的評価に結び付くこと。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版 2019.

《授業外における学習方法》

実技:4回実施後5回目試験 5回目に合格しなければ、合格するまで実施 5回目で合格とそれ以降で合格70%+
評価:合格70%+出席と授業態度30%

《履修に当たっての留意点》

高齢者を支援できるよう学ぶ。

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔、鼻腔、気管カニューレからの喀痰吸引の手順と留意点について説明できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 口腔、鼻腔、気管カニューレからの吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔からの吸引の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 口腔吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	口腔からの吸引の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 口腔吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	鼻腔からの吸引の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 鼻腔吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	鼻腔からの吸引の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 鼻腔吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。		

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	気管カニューレからの吸引の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 気管カニューレ吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	気管カニューレからの吸引の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 気管カニューレ吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	胃瘻、経鼻、腸瘻による経管栄養の手順が説明できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と経管栄養に必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	胃瘻による経管栄養の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 胃瘻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	胃瘻による経管栄養の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 胃瘻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	経鼻経管栄養の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 経鼻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	経鼻経管栄養の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 経鼻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	胃瘻による経管栄養の演習ができる 腸瘻による経管栄養の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	胃瘻腸瘻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策 胃瘻腸瘻による経管栄養に必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	腸瘻による経管栄養の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 腸瘻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	救急蘇生法、AEDの使い方について説明できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	人形を使って救急蘇生法、AEDを用い、一連の救助活動の理解ができる		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		コミュニケーション技術(手話)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年生		学期及び曜時限	前期 金曜2限	教室名	401
担 当 教 員			実務経験と その関連資格	視覚障がい者手話講師			
《授業科目における学習内容》							
視覚障害者とのコミュニケーションの技法、手話表現を学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
演習70% 出席20% 態度10%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
医療の手話シリーズ 手話で必見！医療のすべて一般財団法人 全日本ろうあ連盟							
《授業外における学習方法》							
生活支援技術Ⅲの教科にて、視覚障害者の接し方学ぶ。							
《履修に当たっての留意点》							
非言語的コミュニケーションの理解を深めていく。							
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	初対面の挨拶を手話で覚える。		配布資料	手話関連記事や、 ニュースに関心を持つ。 手話の練習をする(予 習・復習)	
		各コマにおける 授業予定	名前と指文字				
第2回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	初対面の挨拶を手話で覚える。		配布資料	手話関連記事や、 ニュースに関心を持つ。 手話の練習をする(予 習・復習)	
		各コマにおける 授業予定	名前と指文字				
第3回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	指文字で名前を覚える。		配布資料	手話関連記事や、 ニュースに関心を持つ。 手話の練習をする(予 習・復習)	
		各コマにおける 授業予定	名前と指文字				
第4回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	表情、身振りの形を覚える		配布資料	手話関連記事や、 ニュースに関心を持つ。 手話の練習をする(予 習・復習)	
		各コマにおける 授業予定	伝えることの重要性を知る				
第5回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	表情、身振りの形を覚える		配布資料	手話関連記事や、 ニュースに関心を持つ。 手話の練習をする(予 習・復習)	
		各コマにおける 授業予定	伝えることの重要性を知る				

授業の方法			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	挨拶を手話で話し身につける。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	簡単な自己紹介をする		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	挨拶を手話で話し身につける。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	簡単な自己紹介をする		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話を身につける。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	日時を表わす手話単語		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話を身につける。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	日時を表わす手話単語(数字)		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話で話す	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	1日のことを話す		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話で話す	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	1日のことを話す		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	疑問詞の表現を学ぶ。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	疑問詞の表現		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	自己紹介をする。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	総合的な復習		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	自己紹介をする。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	総合的な復習		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	手話を理解している確認ができる。	配布資料	手話関連記事や、ニュースに関心を持つ。手話の練習をする(予習・復習)
		各コマにおける授業予定	まとめ 振り返り		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	介護福祉特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年 火1限	教室名	402
担 当 教 員	荒木 欣典	実務経験とその関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士・保育士・幼稚園教諭二種・社会福祉主事任用資格・介護教員講習修了			
《授業科目における学習内容》						
初級障害者スポーツ指導員資格取得の講義とする。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート提出 70% 出席 20% 態度(授業に取り組む姿勢)10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
障がい者スポーツ指導教本 初級・中級 (公財)日本障がい者スポーツ協会(編)						
《授業外における学習方法》						
テキスト、配布資料を参考に予習・復習を行う。 授業で得た知識を実習に活かし、スポーツやレクリエーションを通して障がいを持った方と交流ができるようにする。						
《履修に当たっての留意点》						
「障害の理解」「健康科学講座」の授業との関連性もあるので、予習・復習をする。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツにおけるインテグリティを理解しプレイヤーズファーストの視点を学ぶ。		配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	スポーツの指導者インテグリティと指導者に求められる資質①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツにおけるインテグリティを理解しプレイヤーズファーストの視点を学ぶ。		配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	スポーツの指導者インテグリティと指導者に求められる資質②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者にとってのスポーツの意義と理念を理解できるようになる。		配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツの意義と理念①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者にとってのスポーツの意義と理念を理解できるようになる。		配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツの意義と理念②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ大会の目的、意義について学べる。		配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	全国障害者スポーツ大会の概要①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域のスポーツ振興進めていくことができるように、実施競技を知る。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	全国障害者スポーツ大会の概要②		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ指導者に求められるコミュニケーションスキルを身につけていく。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションスキルの基礎(グループワーク)		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人前で話すこと、相手の意見を傾聴することができるようになる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションスキルの基礎(グループワーク)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者福祉施策とその変換を学べる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツに関する諸施策		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者スポーツに関する施策を知ることができるようになる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツに関する諸施策		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツを実施する際の安全管理の基本的な項目と内容を学べる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	安全管理		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	資格取得後の活動、情報入手方法を知ることができるようになる。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツの推進の取り組み		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	障がい者とのふれあいを体験し、障がい受容を知ることができるようになる。	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がいのある人との交流（障がい者施設訪問）		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	障がい者とのふれあいを体験し、障がい受容を知ることができるようになる。	配布資料	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がいのある人との交流（障がい者施設訪問）		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者スポーツについての理解を深めていく。	配布資料・PPT	配布資料を事前に読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障がい者施設のふれあい体験の振り返りと総まとめ		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	社会の理解Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	二年生		学期及び曜時間	前期 木曜3限目	教室名	401
担 当 教 員	萩原 恭子	実務経験とその関連資格	社会福祉士。障害者施設にて5年勤務。			
《授業科目における学習内容》						
本講義では、住んでいる地域を基盤とした利用者の生活とその継続的な支援についての基礎的知識と、社会保障の制度や施策について基礎的な知識を身につけることを目的とする。社会の理解後半の学期では、次の3点について学ぶ。 ①高齢者保健福祉と介護保険制度。 ②障害者保健福祉と障害者総合支援制度。 ③介護実践に関連する諸制度。						
《成績評価の方法と基準》						
①素点 定期試験、小テスト等の得点 70% ②出席評価 20% ③平常評価 レポート、授業態度、ノート等 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
中央法規出版 介護福祉士養成講座社会の理解。福祉法令集。						
《授業外における学習方法》						
社会の現在と変化を知るために、新聞等で社会福祉に関する事項を読む。その中から関心を持った内容について自分なりの考察を行い、クラスでプレゼンテーションを行い、情報を共有する。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	高齢者保健福祉の動向			最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	高齢者保健福祉制度の基本的な仕組みを理解し、現状、課題をとらえる。				
第2回	授業を通じての到達目標	高齢者保健福祉に関連する法体系			最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	高齢者の生活を支えるために関連する法体系の中で高齢社会対策基本法、老人福祉法、老人福祉計画、老人保健法、高齢者医療確保法、後期高齢者医療制度について概要を理解する				
第3回	授業を通じての到達目標	介護保険制度1			最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	介護保険制度の内容を理解する1				
第4回	授業を通じての到達目標	介護保険制度2			最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	介護保険制度の内容を理解する2				
第5回	授業を通じての到達目標	介護保険制度3			最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	介護保険制度の内容を理解する3				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回		授業を通じての到達目標	障害者保健福祉の動向	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定		障害者福祉の歴史をふまえ障害者福祉の理念を理解し、障害者福祉の動向の基礎を学ぶ。		
第7回		授業を通じての到達目標	障害者保健福祉に関連する法体系	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定		障害者保健福祉の法体系の全体像を把握し、各法律における障害者の定義を学ぶ。障害児の支援制度を知る。		
第8回		授業を通じての到達目標	障害者総合支援制度1	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定		障害者総合支援制度が出来上がるまでの背景や目的を理解し、国、都道府県、市町村の役割を知る。自立支援給付と地域生活支援事業について学ぶ。		
第9回		授業を通じての到達目標	障害者総合支援制度2	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定		障害者総合支援制度法の利用手続きを学ぶ。また、相談支援の重要性を理解する。		
第10回		授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度1	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定		個人の権利を守る制度・施策を理解する。4つの虐待防止法について学ぶ。成年後見制度と日常生活自立支援事業について目的と違いを通して理解する。消費者保護、個人情報保護、第三者評価、苦情解決・不服申し立ての各制度について学ぶ。		
第11回		授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度2	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定		保健医療に関する制度・施策について学ぶ。		
第12回		授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度3	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定		貧困対策・生活困窮者支援に関する制度・施策を学ぶ。生活保護法、生活困窮者自立支援法の概要について理解する。その他の貧困対策、生活困窮者支援に関する制度・施策について理解する。		
第13回		授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度4	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定		地域生活を支援する制度・施策について学ぶ。就労支援・雇用促進に関する制度、住生活を支援する制度、自殺を予防する制度について理解する。		
第14回		授業を通じての到達目標	社会の理解後半まとめ1	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定		高齢者保健福祉と介護保険制度、障害者保険制度と障害者総合支援制度をふりかえる。演習を行う。		
第15回		授業を通じての到達目標	社会の理解後半まとめ2	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書を熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定		虐待防止法、生活保護法、生活困窮者支援法等についてふりかえり演習を行う。		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護発達と老化の理解		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	発達と老化の理解Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 木曜1限	教室名	401
担 当 教 員	川端 良幸	実務経験と その関連資格	鍼灸師・柔道整復師 関西医療大学 保険医療学修士			
《授業科目における学習内容》						
高齢者に出現しうる疾病、その症状について深く学ぶ。また、介護福祉士として患者さんに対して何が出来るかを考える。						
《成績評価の方法と基準》						
試験評価 80％ 出席評価 10％ レポート10％						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 編集 介護福祉士養成講座編集委員会						
《授業外における学習方法》						
解剖学と生理学の知識をつけておくのが望ましい、こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習する事						
《履修に当たっての留意点》						
介護を学ぶ上においての基礎知識の一つであるので、板書をしっかりノートに書き込んでおく事						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる		介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士 養成講座編集委員会	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	身体的な変化と生活への影響			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる		介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士 養成講座編集委員会	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	身体的な変化と生活への影響			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる		介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士 養成講座編集委員会	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	身体的な変化と生活への影響			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる		介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士 養成講座編集委員会	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	心理的变化と生活への影響			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる		介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士 養成講座編集委員会	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	心理的变化と生活への影響			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうところとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	社会的な変化と生活への影響	介護福祉士 養成講座編集委員会	
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうところとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	社会的な変化と生活への影響	介護福祉士 養成講座編集委員会	
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	健康長寿に向けての健康	介護福祉士 養成講座編集委員会	
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	健康長寿に向けての健康	介護福祉士 養成講座編集委員会	
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者の症状・疾患の特徴	介護福祉士 養成講座編集委員会	
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者の症状・疾患の特徴	介護福祉士 養成講座編集委員会	
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点	介護福祉士 養成講座編集委員会	
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点	介護福祉士 養成講座編集委員会	
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	保険医療職との連携	介護福祉士 養成講座編集委員会	
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	テストによって理解度を確認し、知識の定着を図る	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理解	ところとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	まとめ・前期試験	介護福祉士 養成講座編集委員会	

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
からだの基本的なしくみの理解、こころがからだに及ぼす影響について学ぶ。また、生活の障害はどのようなメカニズムで生じるのか、それにどのように対応するのかを学び、学生が根拠を持って生活援助の妥当性について説明することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新・介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規)2022 参考:からだのしくみ事典(成美堂出版)						
《授業外における学習方法》						
授業で学んだ内容をノート等にまとめ、生活援助技術などの他科目と関連づけて学習できるよう復習しておく。						
《履修に当たっての留意点》						
精神的・身体的・社会的な健康を理解したうえで、利用者の健康状態を判断する基準、そして介護福祉士として利用者の生活の困難さを測る基準となる知識をしっかりと理解していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年後期の講義内容を振り返り、食事に関連したしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	1年後期講義振り返り、食事に関連したしくみを理解する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年後期の講義内容を振り返り、排泄に関連したしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	1年後期講義振り返り、排泄に関連したしくみを理解する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年後期の講義内容を振り返り、睡眠に関連したしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	1年後期講義振り返り、睡眠に関連したしくみを理解する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	人が移動する必要性や移動の効果について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	第3章 移動に関連したこころとからだのしくみの講義 第1節 人が移動するためのからだのしくみを理解する。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	移動が不自由になる要因を説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	第3章 移動に関連したこころとからだのしくみの講義 第2節 移動が不自由になると生じる状態について理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	移動について日常生活の観察のポイントを説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	第3章 移動に関連したところとからだのしくみの講義 第3節 介護をするべきか、訓練や治療をするべきかの判断のポイントを理解する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	身じたくに関連するからだのしくみについて説明できる(目、耳、爪・毛髪・口腔・歯・舌)	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	第4章 身じたくに関連したところとからだのしくみの講義 第1節 身じたくに関連するからだのしくみについて理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心身の機能低下身じたくに及ぼす影響について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	第4章 身じたくに関連したところとからだのしくみの講義 第2節 身じたくを整えることを妨げる要因について理解する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	変化の気づきと対応について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	第4章 身じたくに関連したところとからだのしくみの講義 第3節 身じたくのなかで気づくことのできる心身の変化や機能低下を把握するための観察事項を理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	。と清潔保持の必要性について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	第6章 入浴・清潔保持に関連したしくみの講義 第1節 入浴・清潔の意義と効果について理解する。入浴・清潔保持のしくみについての汚れが皮膚に及ぼす影響を理解する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	第6章 入浴・清潔保持に関連したしくみの講義 第2節 心身機能の低下が及ぼす清潔保持への影響について理解する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	入浴・清潔保持の前に確認する内容について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	第6章 入浴・清潔保持に関連したしくみの講義 第3節 入浴・清潔保持の前に確認する内容や、心身の状態について理解する。 変化の気づきと対応について理解する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	死にゆく人に関連したしくみを説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	第9章 人生の最終段階のケアに関連したところとからだのしくみの講義 第1節 終末期に関する基礎知識や死の捉え方について理解する。看取りでの尊厳死の保持の意味を理解する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	終末期から「死」までの変化と特徴を説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	第9章 人生の最終段階のケアに関連したところとからだのしくみの講義 第2節 終末期から死までの身体機能の変化を理解する。状況に合わせた対応について理解する。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	移動・身じたく・入浴に関連したところとからだのしくみについて振り返りを行い、説明できる知識を深めることができる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・後期授業内容の振り返りを行う事前に行っておくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	移動・身じたく・入浴に関連したところとからだのしくみについて振り返りを行い、理解する		

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
からだの基本的なしくみの理解、こころがからだに及ぼす影響について学ぶ。また、生活の障害はどのようなメカニズムで生じるのか、それにどのように対応するのかを学び、学生が根拠を持って生活援助の妥当性について説明することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新・介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規)2022 参考:からだのしくみ事典(成美堂出版)						
《授業外における学習方法》						
授業で学んだ内容をノート等にまとめ、生活援助技術などの他科目と関連づけて学習できるよう復習しておく。						
《履修に当たっての留意点》						
精神的・身体的・社会的な健康を理解したうえで、利用者の健康状態を判断する基準、そして介護福祉士として利用者の生活の困難さを測る基準となる知識をしっかりと理解していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階に関する「死」の捉え方について看取りでの尊厳死の保持の意味を理解する			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	「死」に対する心の理解 死に対する不安や恐怖、死を受容する段階、家族を死を受容する段階(DVD視聴)を理解できる			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	終末期から危篤状態、死後の身体機能の変化について理解する			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	終末期における医療職との連携 状況に合わせた対応について理解する			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年時の振り返り こころのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	健康とは、人間の欲求の基本的理解、自己概念と尊厳について理解する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年時の振り返り からだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	身体各部の名称、ホメオスタシス、バイタルサインについて理解する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年時の振り返り 移動に関連したころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	移動に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、移動に関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携を理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 身じたくに関連したころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	身じたくに関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、身じたくに関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携を理解する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 食事に関連したころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	食事に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、食事に関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携について理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、入浴、清潔保持に関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携を理解する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 排泄に関連したころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	排泄に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、排泄に関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携を理解する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 休息・睡眠に関連したころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	休息・睡眠に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、休息・睡眠に関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携を理解する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	復習 人生の最終段階のケアに関連したころとからだのしくみについて説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階に関する「死」の捉え方について、死に対するころの理解、終末期の身体変化について理解する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	ころとからだのしくみ総まとめ	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	1, 2年の授業振り返り		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業まとめ、国家試験過去問	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・後期授業内容の振り返りを行う事前に行っておくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	振り返り、まとめ、試験対策		

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	介護の基本Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 月曜2限目	教室名	402教室
担 当 教 員	安田 翔太	実務経験と その関連資格	理学療法士、作業管理士			
《授業科目における学習内容》						
介護予防が必要になった背景や介護予防に関する基礎知識といった運動指導に必要な技術や理論を学習するとともに、科学的介護やエビデンスの活用という視点があることを知る。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験70%平常点10%出席点20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
厚生労働省資料 介護予防運動トレーナー養成テキスト						
《授業外における学習方法》						
テキストを参考にしながら、疑問点や理解が難しい点は教員に確認したり、ディスカッションを行う。						
《履修に当たっての留意点》						
地域ケアの視点から介護を要する方、介護が必要になる可能性のある方に運動指導を求められる場面が増えてきています。適切かつ科学的根拠に基づいた運動指導を安全に実施できるよう現場に出ていることを想定しながら学習しましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護予防の背景やあり方、地域ケアシステムについて理解する	介護予防運動トレーナー養成テキスト		
		各コマにおける授業予定	介護予防運動トレーナーの立ち位置、介護予防概論			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化や高齢者の身体的特徴について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト		
		各コマにおける授業予定	介護予防概論			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の筋力向上トレーニングの定義・必要性・効果について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト		
		各コマにおける授業予定	高齢者筋力向上トレーニング理論			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の筋力向上トレーニングの指導・種類について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト		
		各コマにおける授業予定	高齢者筋力向上トレーニング理論			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢化の現状と介護予防・日常生活支援総合事業について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト		
		各コマにおける授業予定	介護予防マネジメント			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護予防ケアマネジメント、介護リスクマネジメントの基本的な考え方について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	介護予防マネジメント		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の概念、原因、主な症状について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	認知症予防理論		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症症状への基本的な対応と予防について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	認知症予防理論		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿失禁をめぐる問題、尿失禁の種類や対策、排泄に必要な動作と対処方法について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	失禁予防理論		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	転倒の定義、発生状況、要因について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	転倒予防理論		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	転倒予防プログラムの作成方法と運動時のリスクマネジメントについて理解する事ができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	転倒予防理論		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	予防に資する食の問題点、運動と食事の関係性について理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	低栄養予防理論		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	行動の基本的な考え方や行動の法則,セルフエフェカシーについて理解することができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト	
		各コマにおける授業予定	行動科学理論		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における自立、臥床時の身体負担と予防のためのポジショニング、シーティングについて理解することができる。	配布プリント	
		各コマにおける授業予定	介護予防と自立における基本的な介護の考え方		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	科学的介護、エビデンスの活用について知ることができる	介護予防運動トレーナー養成テキスト 配布プリント	
		各コマにおける授業予定	介護実践、運動指導時のエビデンス活用と科学的介護		

学 科	介護福祉学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	健康科学講座	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生	学期及び曜時限	前期 月曜1限目	教室名	401教室
担 当 教 員	安田 翔太	実務経験と その関連資格	理学療法士、作業管理士		

《授業科目における学習内容》

健康増進、スポーツ実践に資する基本的な運動やトレーニングとそれに関連する筋、骨格系、生理学等を学習する。パラスポーツやニュースポーツを調査し、体験することで理解を深める。

《成績評価の方法と基準》

定期試験70%平常点10%出席点20%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

やさしいスポーツ医科学の基礎知識(嵯峨野書院)

《授業外における学習方法》

テキストを参考にしながら、疑問点や理解が難しい点は教員に確認したり、ディスカッションを行う。

《履修に当たっての留意点》

適切な介護、介護予防におけるかかわりは基本的に生理学、身体構造、スポーツ障害などの知識が必要とされる。これを基本として現場で活用できるよう学習するできるよう心掛ける。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 栄養素と栄養障害について理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく
	各コマにおける授業予定	スポーツ栄養学①		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 栄養素の効果的な摂取について理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく
	各コマにおける授業予定	スポーツ栄養学②		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標 栄養と運動の関連について理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく
	各コマにおける授業予定	スポーツ栄養学③		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標 スポーツトレーニングの全体構造や体力・技術・戦術・心のトレーニングについて理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく
	各コマにおける授業予定	トレーニング理論①		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標 スポーツトレーニングの全体構造や体力・技術・戦術・心のトレーニングについて理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく
	各コマにおける授業予定	トレーニング理論②		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツトレーニングの全体構造や体力・技術・戦術・心のトレーニングについて理解することができる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく
		各コマにおける授業予定	トレーニング理論③		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	トレーニングの目的や原理原則を理解できる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく
		各コマにおける授業予定	トレーニング理論④		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	トレーニングの目標設定、手順などの組み立てを理解できる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく
		各コマにおける授業予定	トレーニング理論⑤		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	競技別のトレーニングの構築や戦術などの設定を理解できる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく
		各コマにおける授業予定	トレーニング実践①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	疾患別トレーニングの考え方や注意点を理解できる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく
		各コマにおける授業予定	トレーニング実践②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ストレッチングについて基礎的な知識を理解できる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく
		各コマにおける授業予定	ストレッチング理論①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	ストレッチングについて基礎的な知識を理解できる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく
		各コマにおける授業予定	ストレッチング理論②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	テーピングの基礎知識を学習し理解できる	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく
		各コマにおける授業予定	テーピング理論		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における自立、臥床時の身体負担と予防のためのポジショニング、シーティングについて理解することができる。	配布プリント	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく
		各コマにおける授業予定	活動と参加の重要性①		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ活動する、参加することが生活や身体機能に及ぼす影響を理解することができる	配布プリント	テキストを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく
		各コマにおける授業予定	活動と参加の重要性②		

令和7年度 授業計画（シラバス）

学 科		介護福祉学科		科 目 区 分		授業の方法		講義	
科 目 名		生活支援技術Ⅲ		必修/選択の別		必修		授業時数(単位数) 時間(単位)	
対 象 学 年		2 年		学期及び曜時限		後期 水曜 3限		教室名 4 0 1	
担 当 教 員		杉井 将俊		実務経験と その関連資格		社会福祉士、サービス管理責任者、第一種衛生管理者			
《授業科目における学習内容》									
障害者児を取り巻く環境と福祉サービスの状況や変遷、利用等の理解。									
多岐にわたる障害者児の障害特性、心身機能、環境や関わり方と介護福祉士として行う支援への活用法。									
《成績評価の方法と基準》									
1. 定期試験：70% 2. 出席状況：20% 3. 授業（演習含む）態度：10%									
《使用教材（教科書）及び参考図書》									
最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術Ⅲ」（中央法規出版）									
最新 介護福祉士養成講座「障害の理解」（中央法規出版）									
最新 介護福祉全書「障害の理解」（メヂカルフレンド社）									
《授業外における学習方法》									
講義にて取り扱う教科書範囲の事前確認、福祉に関する報道等の情報把握、その他講義内にて伝達									
《履修に当たっての注意点》									
講義や福祉、実習での経験に関して不明なこと、疑問に感じたことは質問して下さい。									
講義において皆さんに意見を求めることがありますので、積極的な発言を期待します。									
授業の 方法		内 容				使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義	授業を 通じての 到達目標	内部障害（免疫機能）の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる			教科書			
		各コマに おける 授業予定	免疫機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応						
第 2 回	講 義	授業を 通じての 到達目標	内部障害（肝臓機能）の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる			教科書			
		各コマに おける 授業予定	肝臓機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応						
第 3 回	講 義	授業を 通じての 到達目標	重症心身障害の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる			教科書			
		各コマに おける 授業予定	重症心身障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応						
第 4 回	講 義	授業を 通じての 到達目標	障害に応じた補装具、日常生活用具の概要と活用について理解できる			教科書 講義時配付資料			
		各コマに おける 授業予定	補装具、日常生活用具の活用に関わる諸手続や管理等について						
第 5 回	講 義	授業を 通じての 到達目標	知的障害の概要を理解し、状態に応じた関わりを理解できる			教科書			
		各コマに おける 授業予定	知的障害のある方への関わり方や特性や行動に応じた支援について						

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義	授業を通じての到達目標	精神障害の概要を理解し、状態に応じた関わりを理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	精神障害、疾患のある方への関わり方や支援について		
第7回	講義	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	高次脳機能障害のある方の特性や行動に応じた関わり方や支援について		
第8回	講義	授業を通じての到達目標	発達障害の概要を理解し、特性に応じた支援を理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	発達障害のある方の状態や特性に合わせた関わり方や支援について		
第9回	演習	授業を通じての到達目標	知的、精神障害のある方への対応について、具体的な支援方法を考えることができる	教科書	
		各コマにおける授業予定	知的、精神障害のある方の生活や環境の把握、課題の解決や支援方法について		
第10回	講義	授業を通じての到達目標	難病（筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病）の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる	教科書 講義時配布資料	
		各コマにおける授業予定	難病（筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病）のある方の状態や特性に合わせた関わり方や支援について		
第11回	講義	授業を通じての到達目標	難病（関節リウマチ、筋ジストロフィー）の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	難病（関節リウマチ、筋ジストロフィー）のある方の状態や特性に合わせた関わり方や支援について		
第12回	講義	授業を通じての到達目標	難病のある方への対応について、具体的な支援方法を考えることができる	教科書	
		各コマにおける授業予定	難病のある方の生活や環境の把握、課題の解決や支援方法について		
第13回	講義	授業を通じての到達目標	障害のある子どもとその家族の関わりや環境を理解し、状況の把握や支援について考えることができる	教科書 講義時配布資料	
		各コマにおける授業予定	障害のある子どもへの関わり方や家族を含めた支援内容について		
第14回	講義	授業を通じての到達目標	障害の状態像の適切な理解ができ、支援の実践と関わり方が理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害特性に合わせた支援を考える		
第15回	講義	授業を通じての到達目標	後期における授業内容を理解し、自分の力で要点をまとめることができる	教科書	
		各コマにおける授業予定	後期の総括講義と試験対策		

令和7年度 授業計画（シラバス）

学 科		介護福祉学科		科 目 区 分		授業の方法		講義	
科 目 名		生活支援技術Ⅲ		必修/選択の別		必修		授業時数(単位数) 時間(単位)	
対 象 学 年		2 年		学期及び曜時限		前期 水曜 3 限		教室名 4 0 1	
担 当 教 員		杉井 将俊		実務経験と その関連資格		社会福祉士、サービス管理責任者、第一種衛生管理者			
《授業科目における学習内容》									
障害者児を取り巻く環境と福祉サービスの状況や変遷、利用等の理解。									
多岐にわたる障害者児の障害特性、心身機能、環境や関わり方と介護福祉士として行う支援への活用法。									
《成績評価の方法と基準》									
1. 定期試験：70% 2. 出席状況：20% 3. 授業（演習含む）態度：10%									
《使用教材（教科書）及び参考図書》									
最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術Ⅲ」（中央法規出版）									
最新 介護福祉士養成講座「障害の理解」（中央法規出版）									
最新 介護福祉全書「障害の理解」（メヂカルフレンド社）									
《授業外における学習方法》									
講義にて取り扱う教科書範囲の事前確認、福祉に関する報道等の情報把握、その他講義内にて伝達									
《履修に当たっての注意点》									
講義や福祉、実習での経験に関して不明なこと、疑問に感じたことは質問して下さい。									
講義において皆さんに意見を求めることがありますので、積極的な発言を期待します。									
授業の 方法		内 容				使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義	授業を 通じての 到達目標	今後の授業の展開を理解し、障害、疾病について現状での学習状況を整理できる。			教科書			
		各コマに おける 授業予定	オリエンテーション、障害に応じた支援とは						
第 2 回	講 義	授業を 通じての 到達目標	身体障害のある方の状態像を理解できる。			教科書			
		各コマに おける 授業予定	これまでの学習の振り返り 生活や環境の把握について						
第 3 回	講 義	授業を 通じての 到達目標	肢体不自由の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる。			教科書			
		各コマに おける 授業予定	肢体不自由のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応						
第 4 回	講 義	授業を 通じての 到達目標	視覚障害の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる。			教科書			
		各コマに おける 授業予定	視覚障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応						
第 5 回	講 義	授業を 通じての 到達目標	聴覚、言語障害の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる。			教科書			
		各コマに おける 授業予定	聴覚、言語障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応						

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講 義	授業を通じての到達目標	視覚、聴覚障害（重複）の概要を理解し、状態に応じた支援を理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	重複障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第 7 回	演 習	授業を通じての到達目標	身体障害のある方への対応について、具体的な支援方法を考えることができる。	教科書 講義時配付資料	
		各コマにおける授業予定	身体障害のある方の生活や環境の把握、課題の解決や支援方法について①		
第 8 回	講 義	授業を通じての到達目標	内部障害（心臓機能）の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	心臓機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第 9 回	講 義	授業を通じての到達目標	内部障害（呼吸器機能）の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	呼吸機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第 10 回	演 習	授業を通じての到達目標	身体障害のある方への対応について、具体的な支援方法を考えることができる。	教科書 講義時配付資料	
		各コマにおける授業予定	身体障害のある方の生活や環境の把握、課題の解決や支援方法について②（家族との関わり）		
第 11 回	講 義	授業を通じての到達目標	内部障害（腎臓機能）の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	腎臓機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第 12 回	講 義	授業を通じての到達目標	内部障害（膀胱、直腸機能）の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	膀胱、直腸機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第 13 回	演 習	授業を通じての到達目標	医療的ケアが必要な方への対応について、具体的な支援方法を考えることができる。	教科書 講義時配付資料	
		各コマにおける授業予定	医療的ケアが必要な方の生活や環境の把握、課題の解決や支援方法について		
第 14 回	講 義	授業を通じての到達目標	内部障害（小腸機能）の概要を理解し、状態に応じた支援が理解できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	小腸機能に障害のある方の状態に応じた課題の捉え方と適切な対応		
第 15 回	講 義	授業を通じての到達目標	前期における授業内容を理解し、自分の力で要点をまとめることができる	教科書	
		各コマにおける授業予定	前期の総括講義と試験対策		